

案

平成22年11月5日(金)

主な訓練内容

● オフサイトセンター運営訓練、災害対策本部設置運営訓練

原子力防災センター（オフサイトセンター）の立ち上げ・運営、新潟県・柏崎市・刈羽村の災害対策本部の設置・運営などの訓練を事故の進展にあわせて行います。

〔実施場所：柏崎刈羽原子力防災センター、新潟県庁、柏崎市役所、刈羽村役場〕

● 緊急時モニタリング訓練

緊急時に、原子力発電所周辺での放射線や放射性物質による環境への影響等に関する情報を得るために、平常時の監視測定体制の強化に加え、持ち運びが可能な測定機器（可搬型モニタリングポスト）やモニタリングカー（巡回監視車）による放射線量の測定訓練を行います。

〔実施場所：柏崎刈羽原子力発電所周辺地域、県放射線監視センター等〕

● 住民避難誘導訓練

防災行政無線やケーブルテレビ等のほか、消防車により住民広報を行います。

これにあわせ、訓練参加住民の方が、各地区の集合場所に集まり、避難用バスにより避難所（柏崎市総合体育館、長岡市みしま体育館）まで避難する訓練を行います。この際、自主防災組織（会）や消防団が、避難状況の確認を行います。

〔実施場所：柏崎市中通地区ほか〕

● 災害時要援護者の避難誘導訓練

住民避難誘導訓練にあわせ、災害時要援護者の方の避難訓練を自主防災組織と連携して行います。

● 緊急被ばく医療訓練

避難所に設置した救護所で、避難住民の方へのスクリーニング（放射性物質による身体汚染の有無のふり分け）活動訓練を行います。また、厚生連刈羽郡総合病院で、身体汚染検査、除染等の検査除染訓練を行います。

〔実施場所：柏崎市総合体育館、長岡市みしま体育館ほか〕

● 患者搬送訓練

発電所内で負傷し汚染した患者を、柏崎市消防本部の救急車で厚生連刈羽郡総合病院に搬送の後、県航空消防隊のヘリにより、県立がんセンター新潟病院へ搬送する訓練を行います。

〔実施場所：原子力発電所、刈羽郡総合病院ほか〕

原子力防災訓練を実施します

● 訓練目的

- ・国、県、市村、防災関係機関及び原子力事業者が柏崎刈羽原子力防災センターに集まり、一体となって緊急事態応急対策を実施することで防災知識、技術の向上を図ります。
- ・地域住民の皆さんに避難訓練等に参加していただくことで、原子力防災及び原子力安全に対する理解の向上を図ります。

● 訓練日時

平成22年11月5日(金) 8時30分～15時30分

※県内に災害が発生し、又は発生するおそれが生じ、その対策を要するときは訓練を中止します。

● 実施場所

新潟県庁、柏崎市役所、刈羽村役場、柏崎刈羽原子力防災センター、柏崎市総合体育館、長岡市みしま体育館、刈羽郡総合病院 ほか

● 主催

新潟県、柏崎市、刈羽村

訓練当日は、

- ・防災行政無線、ケーブルテレビ、広報車などで訓練に関する広報を行います。
- ・訓練のため防災関係機関などの車両が通行します。

いずれも「訓練」ですので、ご理解・ご協力をお願いします。

お問い合わせ

新潟県防災局原子力安全対策課（新潟市中央区新光町4番地1） TEL 025-282-1695
柏崎市市民生活部防災・原子力課（柏崎市中央町5番50号） TEL 0257-21-2323
刈羽村総務課（刈羽郡刈羽村大字割町新田215番地1） TEL 0257-45-3912

訓練の進行シナリオ

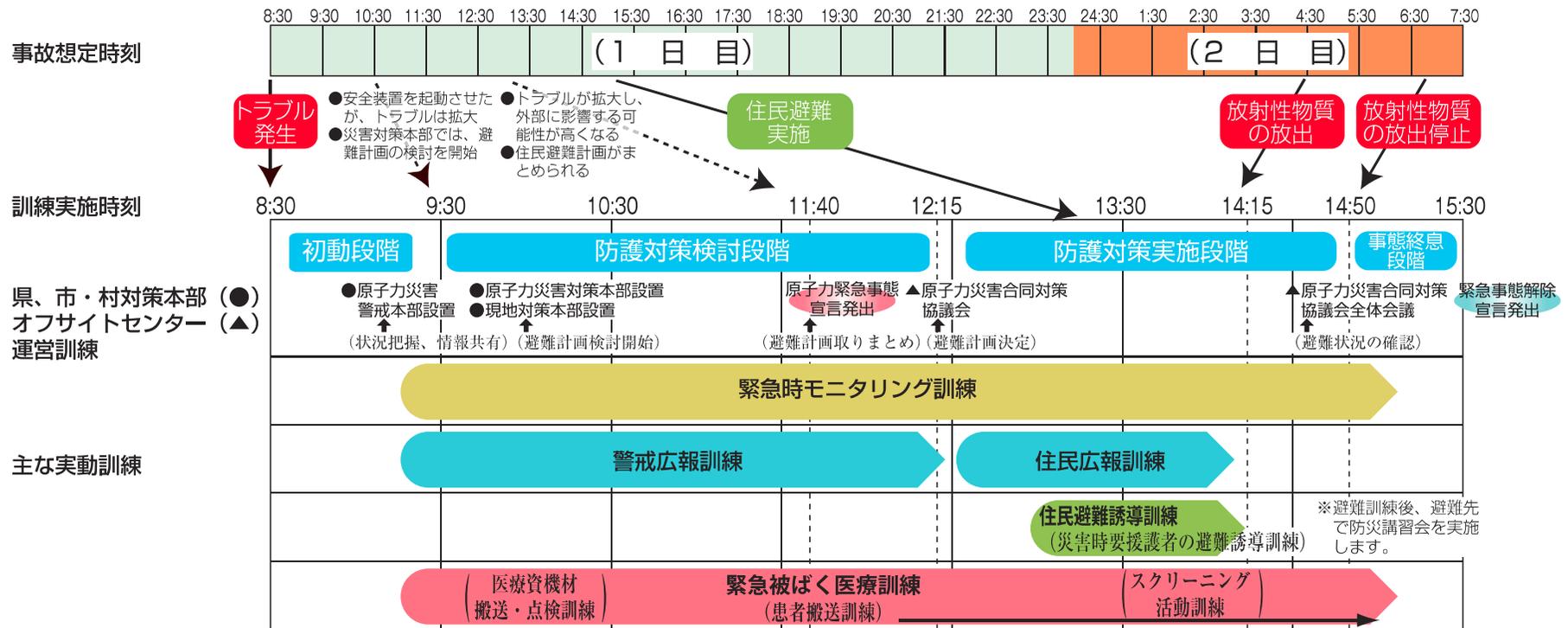


想定事故の概要

上中越地域の山扱い及び平野部を中心に広範囲で大雪となり、県庁、柏崎市、刈羽村とも豪雪対策本部を設置し、対応にあたっています。

そのような状況のなか、東京電力株式会社柏崎刈羽原子力発電所7号機で非常用炉心（燃料）冷却機能の喪失により炉心が損傷し、放射性物質放出の影響が周辺地域に及びおそれが生じました。

- ① 原子力発電所は、トラブルや事故が発生した場合には、何重もの安全装置が機能し、放射性物質の環境への大量放出を伴う事態とならないように設計されています。
- ② 訓練では、より実践的な訓練を行う目的から、あえて避難が必要となるように何段階もの安全装置が作動に失敗し、放射性物質が環境に放出される事態を想定しています。
- ③ 今回の訓練では、実際には2日間に渡る事故シナリオを大幅に短縮して実施します。



複合災害対応について

中越沖地震における対応の検証を踏まえ、平成21年9月、新潟県地域防災計画（原子力災害対策編）を修正しました。この修正により、原子力災害と大規模自然災害が同時期又は相前後して発生するという「複合災害」も対象としました。
今回は、雪害対策下で原子力災害が発生するという複合災害のシナリオで進行する訓練です。